

徳重だより

世帯数配付

No.17 令和5年1月10日
名古屋市立徳重小学校



新年 明けまして おめでとうございます

年が明け、いよいよ3学期が始まりました。静かだった学校に、子どもたちの元気な声に戻ってきました。一方で、朝から眠そうにしているなど、生活のリズムがまだ戻っていない子も見られます。子どもたちの生活リズムが整うよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

3学期は、各学年でこの1年間の学習のまとめをする大切な時期となります。4月に子どもたち一人一人が自信を持って進級・進学できるよう、職員一同しっかりと指導・支援をしていきたいと思いをします。

寒暖の調節ができる服装を

1年で一番寒い時期を迎えました。徳重小学校では、防寒具について次のようなきまりで指導していますので、ご理解、ご協力ください。

- 手袋、マフラー、ネックウォーマーは、基本的に登下校時のみ使用する。
- 携帯用カイロは、薬剤の飛散を防ぐため、衣服に貼り付けるタイプのみ使用を認める。
(直接肌に触れる状態で使用すると、低温やけどになる場合もあります。ご注意ください)
- 教室内でひざ掛けやクッションを使用してもよい。
- ジャンパーやコート類は、室内では脱ぐことが望ましい。

今年度も、感染症対策として常時換気するよう教育委員会から指導を受けており、教室が少し寒くなることがあります。例年よりも、中に一枚多く着るなど、暖かめの服装にしていただけるとありがたいです。なお、基本的に室内ではコート類を脱ぐよう指導しています。温かい室内で厚い服装のまましていると体温を調節する体の機能が働かなくなったり、外に出たときに汗が冷えてかぜをひきやすくなったりするためです。また、屋内や室内でコート類を脱ぐことは一般的に言われるマナーの一つでもあります。しかし現在は、感染症予防として教室を常時換気するため、コート類の着脱については状況に応じて柔軟に対応していきたいと思いをします。ご家庭でも、室内と室外の区別を意識し、寒暖に合わせた服装ができるように話し合ってくださいと幸いです。

「新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金について」

見出しの事柄について、厚生労働省から案内がありました。

令和5年3月末までの間に、新型コロナウイルス感染症の影響による小学校等の臨時休業や、子どもが新型コロナウイルスに感染した(またはそのおそれがある)等の事情により、子どもの世話を保護者として行うことになった場合に、

- 労働者として雇用している保護者に対し、年次有給休暇とは別の有給の休暇を取得させた企業に対しては、「**小学校休業等対応助成金**」が、
- 個人で業務委託契約等をしていた仕事ができなくなった保護者に対しては、「**小学校休業等対応支援金**」が、

国から支給されます。詳細な手続きなどは、厚生労働省のホームページでご確認ください。

【保管を要する教科書等について】

次の教科書等は次年度以降も使用します。保管しておいてください。

現1年生 【生活科：1・2年上、下】【図画工作科：1・2年上、下】

→ 上下とも、全て2年生まで継続使用

現3年生 【図画工作科：3・4年上、下】【保健：3・4年】

→ 4年生まで継続使用

【地図帳】→ 6年生まで継続使用

現4年生 【地図帳】→ 6年生まで継続使用

現5年生 【図画工作科：5・6年上、下】【保健：5・6年】【地図帳】

【家庭科：5・6年】【家庭科の学習(ノート)5・6年】

【外国語：Picture Dictionary】

→ 全て6年生まで継続使用

現6年生 【外国語：Picture Dictionary】→中学校の授業では使用しませんが、学習に生かれます。保存をお勧めします。

【給食の追加献立】

☆ 1月の給食に学校独自の献立として、以下のメニューが追加されます。

1月31日(火)

「たれ入りだんご」

通常の献立に追加して配膳されます。食物アレルギー対応をしているお子様には、既に確認済みです。

6年「薬についての授業」

12月15日(木)、保健の授業の一環として、学校薬剤師の柴田先生を招いて、薬に関するお話を聞きました。



薬の歴史や、飲むときの注意事項のほか、子どもたちの体に害のある薬物の恐ろしさについてもお話しいただきました。きちんとした薬であっても、飲み方や容量を守らないと、正しい効果が出なかったり、時には逆に体に害を与えてしまったりすることがあると知り、驚いた様子でした。

正しい知識を身につけて、自分の身を守ることができるようになってほしいです。

たんぼぼ・つくし校外学習「名古屋港水族館」

12月15日(木)、名古屋港水族館へ校外学習に出かけました。

地下鉄に乗って公共交通機関の乗り方について学んだり、水族館でいろいろな海の生き物と出会ったりしました。



特にイルカショーは大迫力で、イルカが水面から飛び出すたびに大きな歓声をあげていました。

地下鉄にも大変マナーよく乗ることができていて、感心しました。